HPIC Column

アミノ酸分析

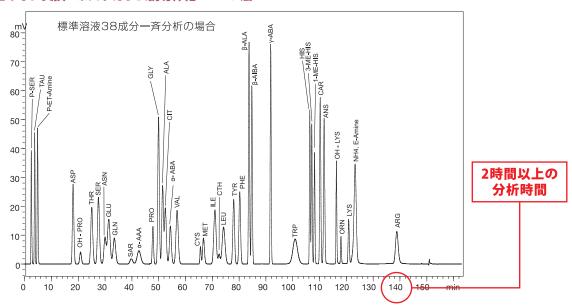
近年、アミノ酸はあらゆる分野で注目されている物質でありその分析目的も様々です。

食品中のアミノ酸分析をはじめ、バイオマーカー探索、メタボローム解析、植物の品種改良などについても数 多く行われております。

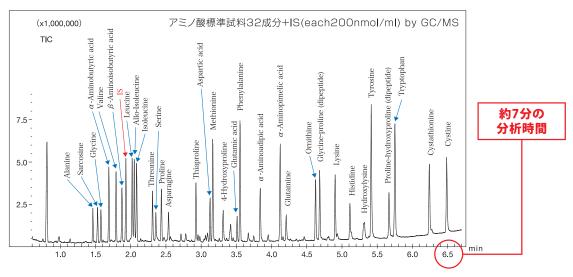
現在のポピュラーなアミノ酸分析手法は専用LCシステム(イオン交換 - ポストカラム誘導体化 HPLC 法)による分析で、前処理のノウハウが必要であり、また分析時間が長いというのが現状です。

ここでは、EZ:faast(イージーファースト)アミノ酸前処理誘導体化キットを用いたアミノ酸迅速分析手法をご紹介します。EZ:faast キットを用いれば前処理誘導体化が約7分、GC(/FID, /MS)分析時間約7分で完了します。また、LC/MS/MS を用い pmol/mL オーダーで分析する事も可能です。

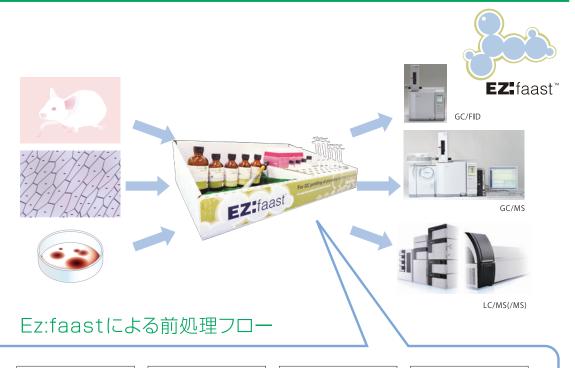
■イオン交換 - ポストカラム誘導体化 HPLC 法



■ EZ: faast アミノ酸迅速分析手法



EZ:faast™ アミノ酸迅速分析手法の流れ





試料を量り取り、 内部標準液を添 加する。(黄色)



STEP 3

洗浄溶媒 (青色) を SPE チップに 通す。



STEP 5

有機誘導体試薬 (オレンジ色) を 加える。

誘導体化は水層 中にて約2.5分 間で完了する。



STEP 7

サンプル前処理 完了後、分析装 置へ注入。

STEP 8

分析開始。



注)わかりやすくするために溶液に着色しています。実際の試料ではこのような色は付きません。

EZ:faast 誘導体化反応図

HPIC Column

EZ:faast, LC/MS/MS 法によるアミノ酸分析

Nexera + LCMS-8030

Column ∶ Phenomenex Kinetex C18 2.1x150 mm, 1,7 µm^{*1}

Mobile Phase : A:5 mmol/L Ammonium Formate - Water

B: 5 mmol/L Ammonium Formate - Methanol

Gradient Prog. : B conc. 50%(0 min)->65%(1-3 min)->90%(4-4.5 min)->50%(4.51-

7 min)

Flow rate : 0.4 mL/min

Column Temp. : 50° C Inj. Vol. : 2μ L

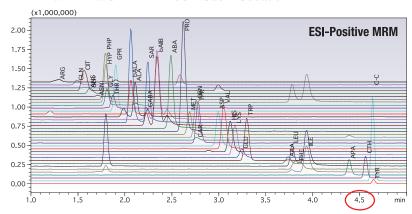
※1 Kinetex カラムは EZ: faast キットには付属しておらず、キット付属のカラム (250mL、4μm) で分析を行った場合は、約 20min の分析時間となります。





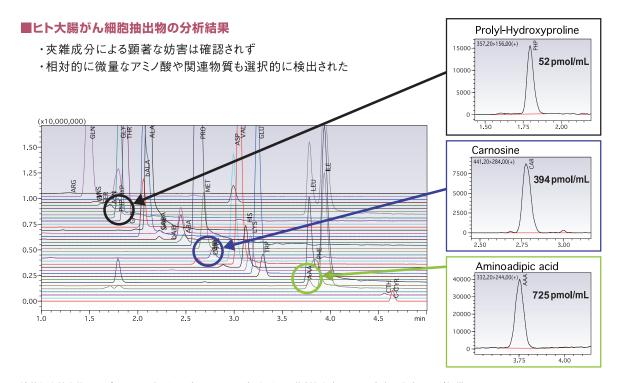


■アミノ酸 36 成分 STD の超高速分析の分析結果



分析時間7min^{(サイクルタイム} (+前処理7 min) ⇒計14 min

イオン交換-ポストカラム 誘導体化HPLC法の 約1/10



培養細胞抽出物サンプルは、国立がん研究センター研究所 がん分化制御解析分野 岡本康司先生よりご提供いただきました

EZ:faast, GC/MS 法によるアミノ酸分析

装置設定条件

: GCMS-QP2010 シリーズ Model

Column : ZB-AAA 10M*0.25mml.D. (キット付属カラム)

GC 条件

: 280℃ Inj.Temp.

Column Temp. : 110°C (0min) \rightarrow 30°C /min \rightarrow 320°C (0min)

Carrier Gas : He Pressure : 15kPa Split Ratio : 1:15

MS 条件

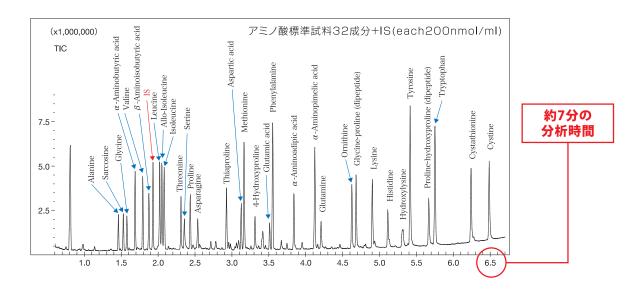
: 280°C Interface Temp. Ion Source Temp. : 200°C

: m/z: 45-450 Scan Range Scan Interval : 0.15sec

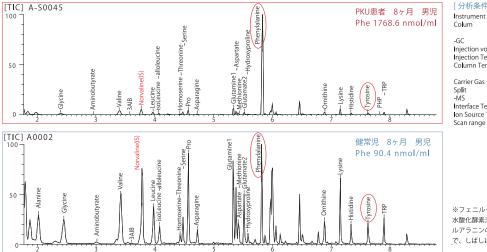








■フェニルケトン尿症 (PKU) 患者と健常者血清中のアミノ酸プロフィル



※ミルスインターナショナル張様よりご提供頂きました。

[分析条件]

: GC-MSD : ZB-AAA 10m x 0.25mml.D (EZ:faast キット付属カラム) -GC Injection volume : 1ul

Injection Temp : 250°C Column Temp : 110°C(3min)-30°C/min -320°C

Interface Temp : 280°C Ion Source Temp : 200°C Scan range : m/z : 45-450

※フェニルケトン尿症・・・フェニルアラニン 水酸化酵素活性の事実上の欠損と血漿フェニ ルアラニンの上昇を特徴とする先天代謝異常 で、しばしば精神遅滞をもたらす。 (厚生労働省 HP より抜粋)

EZ:faast™ キット仕様

項目	仕様		
検出限界	1 nmol/mL (GC/FID)		
定量精度 % RSD	±15% (概ね<10%)		
保持時間再現性 % RSD	>1%		
対応検体数 (1 キット)	384 検体		

キット内容	入数	キット内容	入数
前処理試薬 *1	一式	20-100μL マイクロディスペンサー	1本
アミノ酸スタンダード試薬 **2	一式	専用分析カラム	1本
アミノ酸吸着用チップ	384本	取扱説明書	1 ##
サンプル前処理用バイアル	400本	試薬 MSDS	一式
0.6mL プラスチックシリンジ	6本	リファレンス CD*³	1枚
1.5mL プラスチックシリンジ	6本		

- ※1 前処理試薬のみの販売は行なっておりません
- ※2 2mL のバイアルが 2 セット分同封しております※3 MS 用キットには MS スペクトル一覧が入っております

マイクロディスペンサー

前処理用バイアルラック



内部標準洗浄液 溶出溶媒1,2 有機溶媒1,2 酸性溶液



0.6mLシリンジ SPEアミノ酸溶出用



1.5mLシリンジ SPEアミノ酸ローディング、洗浄用



アミノ酸標準溶液



SPEチップ 384個 EZ:faast推奨ライナー(写真は掲載されていません)



EZ:faast™ 価格表

■キット本体

製品名	付属カラム P/N		価格(円)
LC/MS 用遊離 (生体) アミノ酸分析キット	AAA-MS 4u 250×2.0mm	KH0-7337	308,700
LC/MS 用遊離 (生体) アミノ酸分析キット	AAA-MS 4u 250×3.0mm	KH0-7338	308,700
LC/MS 用タンパク質加水分解アミノ酸分析キット	AAA-MS 4u 250×2.0mm	KH0-7339	324,900
LC/MS 用タンパク質加水分解アミノ酸分析キット	AAA-MS 4u 250×3.0mm	KH0-7340	324,900
GC/FID 用遊離 (生体) アミノ酸分析キット	ZB-AAA 10m×0.25mml.D.	KG0-7165	279,500
GC/MS 用遊離 (生体) アミノ酸分析キット	ZB-AAA 10m×0.25mml.D	KG0-7166	295,700
GC/FID 用タンパク質加水分解アミノ酸分析キット	ZB-AAA 10m×0.25mml.D.	KG0-7167	295,700
GC/MS 用タンパク質加水分解アミノ酸分析キット	ZB-AAA 10m×0.25mml.D.	KG0-7168	311,900

前処理用バイアル

本製品は劇物に該当します。「毒物および劇物取締法」に基づいて、お取り扱いください。毒物劇物一般販売業に登録の販売店よりご購入下さい。

■付属品・消耗品

製品名	入数	P/N	価格(円)
EZ:faast 用 GC,GC/MS キャピラリーカラム ZB-AAA 10m×0.25mm.l.D		CG0-7169	59,400
EZ:faast用LC/MS カラム AAA-MS 4u 250×2.0mm	1本	00G-4402-B0	90,600
EZ:faast 用 LC/MS カラム AAA-MS 4u 250×3.0mm	1本	00G-4402-Y0	90,600
GC 遊離 (生体) アミノ酸スタンダード (SD1,2,3) 2mL/Vial	各2本	AG0-7184	10,800
GC 用タンパク質加水分解スタンダード (SD1,2,3) 2mL/Vial	各2本	AG0-7263	5,400
LC/MS 用遊離 (生体) アミノ酸スタンダード (SD1,2,3) 2mL/Vial	各2本	AL0-7500	10,800
LC/MS 用タンパク質加水分解スタンダード (SD1,2,3) 2mL/Vial	各2本	AL0-7501	5,400
Ez: faast 用 0.6mL プラスチックシリンジ	100本	AS0-8534	38,000
Ez:faast 用 1.5mL プラスチックシリンジ	100本	AS0-8535	38,000
Ez:faast 推奨ライナー 島津用	5本	092085	17,600
Ez: faast 推奨ライナー Agilent 用	5本	092003	18,100